

山行報告書

報告書作成

2013.10.7

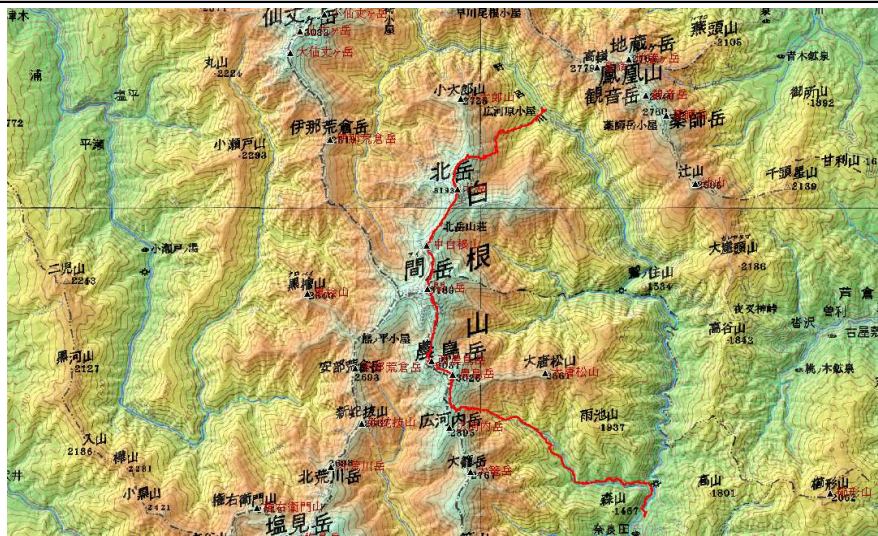
山名 [山域]	白峰三山	目的と方法	ハイキング
登山期間	8月10～11日(日)【予備日なし】	山行形態	テント泊
参加人数	1名		

行動記録

1日目 自宅(1:00) ==岡崎IC(1:30) ==0== =新清水IC(4:40)=72.5km=奈良田P(6:00 6:30) - 広河内橋(7:00) - 大沢小屋(10:00 10:30) - 農鳥岳[1625m](14:30 15:00) - 農鳥小屋(16:00 テント泊)

2日目 農鳥小屋(4:30)-間ノ岳[1625m](6:00 6:30) -- 北岳山荘(8:00) - 北岳[1625m](9:00 9:30) - 北岳肩ノ小屋(10:30 11:00) - 白根御池小屋(12:00 12:30) - 広河原山荘(14:00) = 奈良田P(15:00 15:30) = 新清水(17:00) = 岡崎IC(19:00) = 自宅(19:30)

概念図



日誌

仕事がかかってしまいがち、出発が翌日になり、奈良田から計画より2時間遅れの入山。大沢小屋までの道は少し傾いた吊り橋に細い木の幹でできた頼りのない橋があったが歩きやすい登山道だった。大沢小屋から稜線までの急登は登山道も特に問題なかったが、甲府が40℃超えの影響が熱がこもりとても蒸し暑く大量の汗が噴き出たため、もっていた水を大量に消費してしまった。稜線からは風もあり、雲のないとってもよい風景のなかで時間的に北岳方向に抜けることを断念して農鳥小屋でテント泊にしよう、途中で出会った方にいろいろ訪ねると、今日は若くかわいい女性が小屋泊しているから小屋番の機嫌がいいという意見が多数聞かれたので農鳥小屋でテント泊することにした。事前の評判と山行中の意見とで戦々恐々するなか農鳥小屋に着くと、まず小屋番の方に「30代だったらあと3時間は早く着いて北岳側にいけるはずだ、君は登山をする者としてやる気と根性、スピードがない」と注意される始末で水場の調子が悪く水は1リットルという制限がかかっていた。また15時までに小屋に着いてないと言うことでビールやジュースの購入はできなかった。2日目は雷注意報と前日の遅れを取り戻すべく、出発を早め早いうちに間ノ岳～北岳～広河原とぬけていった。今回の山行で農鳥小屋までに会った人が30人に満たなかったのと、登りは3人だけでテント泊は僕1人であとはトランであり、そのうち1人は私と駐車場を一緒に出発して私が農鳥岳に着いたら広河原から戻ってきたと言うのでびっくりしました。

楽しい山行だったのでまた来年行きたいと思います。あと、農鳥小屋はおせじにも綺麗とは言いがたいがよく手入れが行き届いていた。この小屋は小屋番が1人で農鳥小屋泊(食事付き)する場合は、当日の14時までに連絡をしっかりと、15時までに必ず小屋に到着、出発前日の17時までに水・お菓子などの補充・購入し早朝には補充しないことが望ましい。甲斐犬を飼っているの朝方吠えることがある。小屋の食事を拝見すると味があるメニューで年季のある食器だった。ちゃらちゃらした格好、軽装備の人は農鳥小屋から先の行程を考えるときついのので小屋番の方に怒られる。かわいい女性、しっかりした装備でルールを守れる人は小屋番が優しいが農鳥小屋の感想です。

参加者名

改定: 2004.08.24